

第一段階選抜合格者の提出物
(美術史・芸術支援領域を除く)

芸術学学位プログラム(博士前期) <10月実施 入学試験>

第一段階選抜合格者は志望する領域に応じ、下記に従って作品または論文を提出してください。作品または論文が提出されない場合、受験することはできません。

領域	作品または論文	提出日時・方法
洋画	・絵画作品(F50号以上 F200号以下、仮額付き)2点	<p>実技試験前日の10月16日(水)15:00から16:00までの間に、作品または論文に「論文・作品添付票」を添付し、「誓約書」と一緒に、必ず本人立ち会いの上、指定搬入場所に搬入してください。</p> <p>指定搬入場所についての案内は10月3日(木)に登録メールアドレスまで送信します。必ず確認してください。</p> <p>(搬入作品は、試験終了時に本人が引き取ってください。引き取らない作品の保管について責任を負いません。)</p> <p>社会人特別選拔出願者で、勤務等により前日に搬入ができない場合のみ、試験当日の持参を認めます。ただし作品が大きくて当日に持参できない場合、組み立てや設置に時間を要する場合、及び映像作品は、試験当日ではなく、必ず前日に搬入してください。</p>
版画	・版画作品(額付き)3点	
日本画	・日本画作品(50号以上、仮額付き)2点	
彫塑	・立体作品1点	
書	・書作品(漢字・仮名・漢字仮名交じり各1点、表装したものに限り)	
構成	・作品、または論文を合計3点(各作品に1,000字程度の解説文をつけること。映像作品の場合は10分以内とし再生装置も提出する)	
総合造形		
工芸	・作品、または論文を合計3点(各作品に1,000字程度の解説文をつけること。シリーズ作品などはまとめて1点とする)	
ビジュアルデザイン	・作品、または論文を合計3点(様式任意。シリーズ作品などはまとめて1点とする。)	
環境デザイン	・論文、または作品(図面、モデル、実物いずれでも可)を合計3点(様式任意。論文が外国語の場合は、日本語の要約を添付すること)	